

国際研修「平成29年度UHC時代における結核制圧コース」に参加して

瀋陽市第十人民医院

瀋陽市胸科医院 **王 洋**



私は、瀋陽市第十人民医院（瀋陽市胸科医院）の王洋と申します。この度は、結核研究所で行われていますJICAが主催する国際研修「UHC時代における結核制圧コース」へ参加させて頂きましたこと心より御礼申し上げます。私にとって初めての国際研修であり、大変素晴らしい経験となりました。研修内容は非常に奥深かったです。一緒に学んだ13カ国の研修生達とのコミュニケーションを通じて、他国の結核の情報を理解し、自国の弱点と対比させることが出来ました。特に、結核対策に成功している日本から多くを学びました。講師と私たち研修生は今や大家族のような存在です。自国に戻った際は、日本で学んだ知識を生かして結核対策に貢献致します。結核予防会並びに結核研究所には深く御礼申し上げます。

研修では座学だけでなく、ワークショップ、グループ討議、プレゼンテーション、個別指導などを通じ、問題を分析し、オペレーショナルリサーチを立案する技術を身に付けることが出来ました。プレゼンテーションスキルを得るとともに、多くの場面での発言や傾聴する能力の向上を図ることも出来ました。今では人前で討論することに自信があります。結核研究所の皆様は、非常に献身的に私たち研修生をサポートして下さいました。皆様への感謝の意を言葉で表現することは難しいほどです。日本の皆様の仕事熱心さは、世界一だと思います。

健康管理と結核対策において非常に成功している長野への視察旅行は忘れられません。長野では結核の罹患率は低く、長寿であり、健康的な食文化も根付いています。また横浜では、ホームレスや結核患者への非常に素晴らしい支援体制を視察することが出来ました。また結核予防会総裁である秋篠宮妃殿下とご懇談出来ましたことに非常に光栄に存じます。

研修の2カ月間は、結核研究所がある清瀬市に滞在しました。清瀬市は、静かで清潔、そしてとても親切な街です。清瀬市長からの人参とトウモロコシのプレゼントは大変おいしくいただき、感謝致しております。

また市民の方々は大変友好的で清瀬国際交流協会のパーティ、英語でしゃべらん会、ホームステイ、日本語教室に参加させて頂き、大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。清瀬市の皆様に心より御礼申し上げます。

私達は、大変勤勉な方々に囲まれていたことに感謝します。皆様がこの研修を成功に導くためにそれぞれ欠かせない役割を果たして下さいました。日本と中国は深い友好関係があり、近年は特に経済、文化、人々の交流が増加傾向にあります。日本と中国の間では、結核専門家による数多くの協力がされています。私は結核対策、そして両国の友好のために全力を尽くします。そして研修員全員も、自国に有益な貢献をすると確信しております。最後に改めて感謝申し上げます。🐼



自国の結核状況を発表する筆者



モニタリング評価の演習風景